



発行元：NPO法人あさお市民活動サポートセンター

目次	
雪かき騒動 顛末記	1
グッドネイバース	2
拡大写本グループ とんぼ	2
傾聴たあみなる	3
麻生童謡をうたう会	3
突撃レポート 復興ボランティア タスクフォース	4
Information 取材申込受付	4

## 雪かき騒動 顛末記

～地域おこしに「やまゆり」の活用を～

1月14日（成人の日）は久々の大雪で麻生の里も10cmの積雪をみた。丹沢から富士山を望む眺めはまさに絶景だった。しかし、町内には雪景色を愛でてばかりいられない事態が起きていた。積雪と道路のアイスバーン化によるトラブルの発生だ。車が随所で立ち往生、新聞屋さんも牛乳屋さんも3日間は徒歩配達。高齢者、障害者は自宅に閉じ込められた。

2月の自治会役員会では降雪時の雪かきが議題になった。若いお母さんは子どもの通園・通学、民生委員は高齢者の見守り・買い物、皆さんそれぞれの立場からその必要性を強調された。議長は雪かきの必要性を認め、雪かきを誰がどのように進めるか諮った。沈黙を破って若いお父さんが「道路公園センターに要請すべき」と提案。この発言をきっかけに「誰がやるか」で議論が沸騰した。いわく、「降雪時に役所へ頼んでも手が廻らない」「自宅前はその住人が」「アパート、空家・空地の前は誰が」「業者へ委託」「自治会に雪かき当番を」等など。傾合いを見て、古参の役員が「以前は雪が積もれば誰それなく雪かきをはじめの人がいて、その姿を見て人が集まり共同作業がはじまった。たちまち雪は道路から消え通行に支障は起こらなかった。」と振り返り、「だが、あの人たちはもう歳を取りすぎた」と述懐。「先ずは隗よりはじめよ、今日出席の役員が率先してやってみ

ませんか」と提案。全会一致で承認可決され、一件落着。ところで、皆さんのご近所では如何されたのでしょうか。

第3期麻生区地域福祉計画(\*)は、「隣同士の付き合いや近隣同士の助け合いの場面が少なくなり、地域社会の『まとまり』や『つながり』が弱まっています。みんなで知恵を出し合えば、みんなで力を出し合えば、さらに暮らしやすい地域ができるはずです。」とし「地域づくりや支えあい活動を実践するための『仕組み』をつくりましょう」と結んでいる。だが現実には、「言うは易く行うは難し」。多くの関係者は頭を抱えている。

麻生市民交流館やまゆり（以下やまゆり）では地域活性化の『仕組み』を動かす「仕掛け」づくりに寄与するため、1階サロンに「市民活動相談窓口」を開設。音楽、演芸、郷土史などさまざまな分野の達人、館内での舞台設営、パーティーコンシェルジュなど人材や機材をそろえて利用者のニーズに応えている。

地域の親睦、つながりを育む活動を考えている団体の皆さまは「やまゆり」をのぞいて見てください。新しい発見があるかもしれません。

区民記者 竹市八郎



**冊子「あさお福祉計画」**  
※第3期麻生区地域福祉計画  
平成23年度～平成25年度  
【内容】麻生区の地域の特色、区民が抱える生活課題、麻生区がめざす地域福祉計画の理念や目標、事業体系一覧表、具体的な取り組み など

## こまったとき、チョットしたお手伝いに うかがいます！



代表者で活動状況をフォロー

### グッドネイバース

代表：鷹取順子

連絡先：Tel. 044-955-4980

または社会福祉協議会地域課経由  
Tel. 044-952-5500

設立：2002年10月

会員：36名（男性10名、女性26名）

会費：500円/年（入会金なし）

支援費：200～500円（活動資金支援）  
＋交通費（実費、必要時）

活動：定例会議（会員）

毎月第2金曜

14～16時

連絡会（代表）

毎月第4金曜

14時30分～16時30分

会議場所：21ビル社会福祉協議会会議室

住民同士がお互いに助け合い、安心して暮らせる地域作りを目指して活動をはじめたグッドネイバース(良き隣人)。公共の介護、支援制度の隙間を埋める活動をしている。高齢な方や障がいのある方の話し相手、散歩・買い物の付き添い、病院への送迎、掃除、草とりなど。施設では入浴後の髪ドライヤー、お茶出し、車椅子移動補助など、また保健福祉センターでの乳幼児健診時のサポートなど、いずれもチョットしたお手伝いである。

会員は現在36名(40～70歳代)。活動場所は個人宅、川崎授産学園、川崎田園都市病院、老人ホームなどの施設、おしゃべり会(片平いこの家)など。

先日グッドネイバース主催で“傾聴”についての講演会を開いたが、補助椅子を出すほどの盛況であった。“聴”は耳へんに十四の心と書くが、ひたすら聴く

のに徹する、相手の思いに寄り添う、相手が話しだすのを待つ間の沈黙など基本的な心構えの説明に、60名を超える聴衆がうなずいていた。

現状の活動には余力があるが、支援を必要とされる方の声が、なかなか届かないことが、最大の悩みとのこと。会員も随時募集中(どなたでも)。

取材・文 中島久幸



聴き上手で話がはずみます

## 拡大写本グループ とんぼ

### 手作りの教科書を届けます

高齢者や弱視の人のために、必要な本や時刻表などの字を大きくするボランティアグループ。社会福祉協議会の開催した写本講座を受講後に、活動がはじまった。現在は教育委員会、神奈川県拡大写本連絡協議会などを通じて依頼された、弱視の小中学生の教科書作りを専門に手がけている。

作業の内容は、まず個人々の要望に沿って文字の大きさ、台紙や文字の色などを決め、元の教科書と全く同じになるようレイアウトを相談する。絵や写真の部分はどう一貫性をもたせるか、ときに折りたためるようなページにしたり、文字を入れる場所を工夫したりする。次に

大きさ別の下敷きなどを使って手書きで文字を大きくし、写真や絵をパソコンで拡大して、1ページ1ページ慎重に作り上げる。最後に製本し、内容が多いときは何十冊にも分冊にする。

何より正確さが求められるのと同時に、1冊目が新学期に間に合うように緊張を要する作業が続く。そして単に文字の拡大だけではなく、視野狭窄やぼんやりとしか見えない人も多いので、少しでもはっきりみえるように背景や文字の色を使い分け、ペンの太さなども配慮する。ときには両親から日頃の様子を聞いたり、担任の先生に相談したりして見本を作り、テストを繰り返すなどの手探りの努力を積み重ねている。

こうした20年近くに及ぶ努力の結晶は拡大教科書の原本となる標準教科書の教科の数にして118となり、弱視の子どもたちの大きな助けとなっている。今後は絵本や児童図書の拡大本を手掛けることが目標だ。

取材・文 久保ひとみ



手でゆっくり文字を書いたり、スキャナーで呼び込んだ絵を、パソコンで拡大する

### 拡大写本グループ とんぼ

代表：高橋富久子

連絡先：Tel. 044-965-0662

(事務局佐々木)

設立：1993年6月

会員：24名(女性)

活動日：毎週水曜 10～12時

活動場所：21ビル社会福祉協議会研修室

会費：1000円/年



今日の作業を終えて、ほっとする皆さん

## 傾聴たあみなる

### 聴かせてください あなたの話を

「傾聴たあみなる」は、2011年6月に結成された、傾聴ボランティアグループ。多くが、市民の生涯学習を支援するために設立されたNPO法人かわさき市民アカデミーの「傾聴ボランティア養成講座」の修了者。

現在、会員は12名。会員は麻生区、多摩区内の介護福祉施設などに出向き、月1～2回活動している。

『「傾聴」は、相手のお話を、寄り添って耳を傾けてじっくり聴くことで、相手のこころを癒す手助けをします。ひたすら、聴いてあげることが基本です』と、代表の小松さん。

会員の百瀬昌之さん、落合文子さんの、特養「かないばら苑」(麻生区栗平)の傾聴活動を見学させていただいた。

百瀬さんは施設利用者の動きを目で追いながら、それとなく近づき、やんわりと「こんにちは」と声をかけ傍らに座る。「この前の楽しい話の続きを聴かせてくださいませんか」。利用者は「何のはなし?」と、しばし面喰っていたが、思い出したのか、ぼつぼつ話しはじめた。百瀬さんは「えー、そうですか」などと、あいづ

ちを打ちながら、話を聴き続ける。30分は経ったろうか、真剣に聴いてくれる百瀬さんに、安心した様子で話を続けていた。

別フロアでは、落合さんが「帽子がお似合いですね～」とやさしく声をかけるが、口を開いてもらえない。「じゃ、皆さんといっしょに歌を唄いましょうか～」と、円卓を囲む利用者にも声をかけた。「♪からす なぜなくの からすはやまに～」。子どもの頃、歌ったのだろう。黙っていた利用者も口ずさんでいるように見えた。

小松さんは「人は話すことで、心が癒され、孤独感や不安がやわらぐと思います。その手助けをしたい」と、傾聴の大切さを熱く語った。

取材・文 石崎純也



定例会では出来事を語り合い、傾聴のスキルアップを図る



「できるだけ多くの話を聴いてあげます」と、百瀬さん

### 傾聴たあみなる

代表：小松紋子(こまつ あやこ)

連絡先：e-mail info@pasoaya.co.jp

設立：2011年6月

会員：12名(男性2名・女性10名)

会費：800円/年

定例会：隔月

活動：不定期 2時間まで

活動場所：介護福祉施設

(麻生区・多摩区)

備考：会員は随時募集中。かわさき市民アカデミー、その他の「傾聴ボランティア養成講座」を修了した方。



2012年9月ネパールの孤児院で交流。歌とともに日本のお母さんのやさしさが、彼らの脳裏に刻みこまれた

### 麻生童謡をうたう会

代表：菅原敬子

連絡先：Tel. 044-988-5032

携帯090-4814-2151

設立：1992年12月

会員：50名(女性50名)

入会金：1000円

会費：2000円/年

活動日：毎月土曜

活動場所：さくらスタジオ(第1・第3)

柿生小学校(第2・第4)

## 麻生童謡をうたう会

### 歌声で心と心をつなげる

「日本の童謡や唱歌を次世代に残したい」とスタートして20年、団員は女性ばかり50名の女声合唱団である。1995年に市の代表として、姉妹都市オーストリア・ザルツブルグで行われたジャンパンウィーク・川崎ディに参加。以降、ほぼ2年に一度、ハンガリー・スロバキア・韓国・インドなど海外へ出向き、日本の童謡を歌ってきた。

交流の内容について2代目の会長の菅原敬子さんは「童謡は日本人の心そのもの、訪問する国の言葉で日本の童謡を紹介し、その国の子どもたちの歌を歌い親交を深めています。言葉が通じなくても、観客の笑

顔を見れば、私たちの思いが伝わったかどうかすぐ分かります。」と語る。

麻生区では、麻生音楽祭、麻生合唱フェスタ、麻生サークル祭、七草粥の会などイベントに毎年出演するだけでなく、童謡は心の癒しになると、区内の障害者や老人施設、聖マリアンナ医科大学病院にも歌声を届けている。

「歌声で心と心をつなげる」喜びを味わいたい方、歴史のある同会は歌唱力のあるメンバーを募集しています。

取材・文 植木昌昭

# 突撃レポート

ペンとカメラを携えて  
記者が行く行く  
今日も行く



## 雨ニモマケズ 風ニモマケズ…東へ、西へ

### 一災害復興ボランティアの活動一

2004年11月、中越地震の報に接し、かつて住んでいたことのある地区の様子が気になり、代表の高田氏は長岡へ車をとばした。惨状を目の当たりにして、もとの生活を取り戻すのは大変なことだ、多くの人が手をかさない、という村長の言葉を実感した。

これを機に高田氏は災害復興を目的とする任意団体を設立。中越には10回ほど、東日本被災地へも地震直後からおよそ30回は出かけた。



京都府宇治市山間部での土砂崩れ復旧作業

最近では2013年1月、琵琶湖の流木撤去、2月には山形県船形町での除雪作業などに携わった。

復興支援活動は多岐にわたる。技能をもった人がいれば鬼に金棒。下敷きになった人の救出や倒壊した建物の修理解体、倒木の片付けにはチェーンソーが不可欠。2012年10・11月には、多摩川の河川敷で無料のチェーンソー講習会を開催し、のべ29人が参加した。

高田氏はじめ会員は平日には仕事があり、活動はおもに土日祭日。日程調整がむずかしい。仲間の車に分乗し被災地へ向かう。遠征は東北・北陸・近畿におよび、平均2ヶ月に3回程度。みんな手弁当だが被災者のことを思えば苦にならない。「困っている人たちがいる、力になりたい」。止むにやまれぬ思いで東へ西へと車を走らせる。

被災地での活動には「体力に自信がない」などと尻ごみする人もいるが、草取りをはじめできることは沢山ある。チェーンソー講習会に参加した70歳の女性が建物の解体を手



多摩川河川敷でのチェーンソー講習会

伝ったこともある。「共感と行動、それがひいては我が身の防災につながる」が高田氏の持論。

氏は川崎市防災インストラクターでもある。一人でも多くの人に災害の実状を伝え、防災意識を高めてゆきたいとも考えている。「やまゆり」区民講師公開講座を活用してみたいだろうか。

取材・文 飯田保幸

### 復興ボランティア タスクフォース

代表者：高田昭彦

連絡先：090-3804-9824

e-mail fukkou.volunteer@gmail.com

設立日：2005年6月

会員：10名(男7名、女3名)

会費：なし

活動日：不定期

活動場所：被災地など

その他：支援参加者募集中

詳しくは「復興ボランティア タスクフォース」ホームページで

## Information 取材申込受け付けます!

### ●取材申込受け付けます!

「活動を紹介して欲しい」「イベントを取材して」そんな声に記者が応えます。お申込みいただいた内容については編集会議で可否を検討したうえで、改めてご連絡させていただきます。

### ●応募条件

麻生区を拠点に活動している。または、麻生区在住・在学・在勤者が活動に参加している。

### ●申し込み方法

1. 団体名 2. 代表者名 3. 連絡先(電話・FAX・メール)
4. 活動内容(イベントの場合は開催日時・料金・内容)を、「あさお区民記者」宛てにFAXまたはメールでご連絡ください。

FAX.044-951-6467

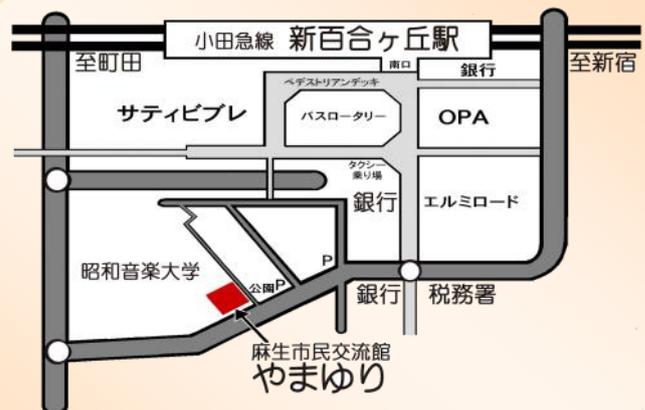
Mail info@asao-ku.net

※但し、選挙、政党・政治団体など政治活動に関わるもの、宗教団体による布教推進を目的とするもの、プライバシーの侵害や業務妨害のおそれのあるもの、差別を助長するものは掲載できません。

## あさお区民記者

「区民による 区民のための情報発信」を目的に活動。過去の記事や取材後記はホームページをご覧ください。

<http://www.asao-ku.net>



〒215-0021 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-5  
Tel.044-951-6321 Fax.044-951-6467  
URL <http://web-asao.jp/yamayuri/>  
Access 小田急線「新百合ヶ丘駅」南口から徒歩4分